

麻疹が流行しています



海外から帰国後に発症した人から感染する
二次感染者が増加しています！

「MRワクチン」2回目の接種はお済ですか？

麻疹は、空気感染する感染力の非常に強い病気です。インフルエンザは1人の感染者から1～2人に感染させますが、麻疹は1人の感染者から12～14人に感染させると言われています。また、合併症にウイルス性脳炎や亜急性硬化性全脳炎があります。ワクチン未接種の乳幼児や、成人が麻疹にかかるると重症化することが多く、合併症を併発する率、死亡率も高くなります。

沖縄県を旅行している人が麻疹を発症し、2018年3月下旬以降沖縄県内で麻疹患者が増加しています。今後、感染拡大する可能性もあります。ご注意ください。

MRワクチン（麻疹・風疹混合ワクチン）を過去に一回受けていても麻疹に罹患する場合があります。その場合、麻疹の典型的な症状を呈さないことも多く、全ての症状において軽症ですむようです。しかし、麻疹ウイルスを他者に感染させる危険性は同じです。

★免疫がない人は、ワクチンを接種することが一番の予防方法です！

麻疹ワクチン定期接種の経緯 *定期接種：国が接種を勧奨し対象年齢内では公費で受けられる。

1978 年 10 月より定期接種 1 回開始となり、2005 年より MR ワクチン定期接種 2 回（1 歳と小学校入学前）となりました。

（1990 年 4 月 2 日生まれの人から 2000 年 4 月 1 日生まれの人は、中学 1 年（第 3 期）又は高校 3 年（第 4 期）どちらかで 2 回目の定期接種を 2008 年～2013 年の時限的に実施）

★1968 年～1990 年生まれ（27 才～50 才）の人は、麻疹にかかる危険性が高いと考えられます。

麻疹に罹患した人は免疫を持っていますが、以下の人は「MRワクチン」の接種を勧奨します！！



- 過去に「MRワクチン」の接種を受けたことがない人
- 「MRワクチン」の接種を1回だけしか受けていない人
- 抗体検査の結果、陰性と判定された人

自分のワクチン接種歴を知りたい人は、母子手帳を調べてください。母子手帳には、今まで受けた予防接種歴が記載されています。

症状



- 5～21 日の潜伏期間の後 38℃前後の発熱やせきで始まり、結膜炎症状が出た後、高熱と共に頸部、顔から発疹が出現し全身に広がります。
- 麻疹の主症状は発熱が約 1 週間続き、症状も強いため、合併症がなくても入院を要することが少なくなく、回復までには時間のかかる重症な病気といえます。



感染ルート

- 空気感染（マスクによる感染予防も難しい）
- 飛沫感染（感染した人の咳、くしゃみに含まれたウイルスを鼻や口から吸いこむ）
- 接触感染（ウイルスが付着したドアノブ、スイッチなどに触れた手が鼻や口に再び触れることにより粘膜などを通じて感染する）

治療方法

- 麻疹ウイルスに対する特効薬はありません。
- 解熱剤や2次感染予防の抗生物質などの対症療法のみです。

国立感染症のホームページ

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>



わからない事、不安なことがあればいつでも保健室へご相談ください。

桃山学院大学 学生支援課 保健室